

〈優れた点と評価を受けた内容〉

- 「警察官・消防官特進クラス」や「公務員対策講座」「行政書士」「司法書士講座」など法学部の特性を生かしたキャリア支援のための講座が充実しており、取分け「公務員対策講座」は多数のプログラムが組まれ、それぞれの志望職種に応じて履修ガイドが作られ、学生の科目選択の便宜を図るなど、きめ細かい受験指導が行われていることは高く評価できる。
- 少人数教育を実施していることに照らして、専門的かつ一元的な相談窓口に絞らず、相談者の必要に応じて、窓口間の連携をとり、多面的な支援を行っており、どこでも相談できる支援体制を構築していることは評価できる。
- 「学生満足度調査」の結果を受けて学友会執行部が、一般学生の意見等のレポート収集を行うなど、学生の要望等をくみ上げる過程に学生が主体的に関与できる仕組みができていることは高く評価できる。
- 「授業改善のためのアンケート」について、教員が担当科目のアンケート結果を自らクロス集計によって分析できるよう設計するとともに、アンケート結果と各教員によるフィードバックを学生と全教職員間で共有することによって、教育内容・方法や学修環境の向上など教育の質の向上に寄与しており、高く評価できる。
- 教学部門の重要役職者に加え、経営部門の副理事長及び管理部門の大学事務局長を含む「学長室」を設置し、大学全体に関わる統合的な重要問題を企画・立案する補佐機関としており、学長がリーダーシップを発揮できる体制を整えていることは評価できる。
- 「ファカルティ・ディベロップメント委員会」には、専任教員だけでなく専任職員も委員として参加しており、教員の立場とは異なる視点からの意見を反映させることが可能な環境を維持し、大学全体としての教育の質的向上を目指す運用として取組んでいることは評価できる。
- 「学校法人君津学園内部監査規程」に基づいて内部監査室を設置し、専従の職員を配置して監査計画に基づいた監査を実施するとともに、内部監査室長が監事及び会計監査人との情報交換を行うなどして、監査体制を強化していることは評価できる。
- 「学校法人君津学園危機管理規則」に基づき「清和大学防災規程」を制定し、「自衛防災隊」を定めるとともに、年 1 回以上の防災訓練の実施を定め、避難訓練だけでなく消火訓練等を実施するなど、安全性を確保する体制を構築していることは評価できる。